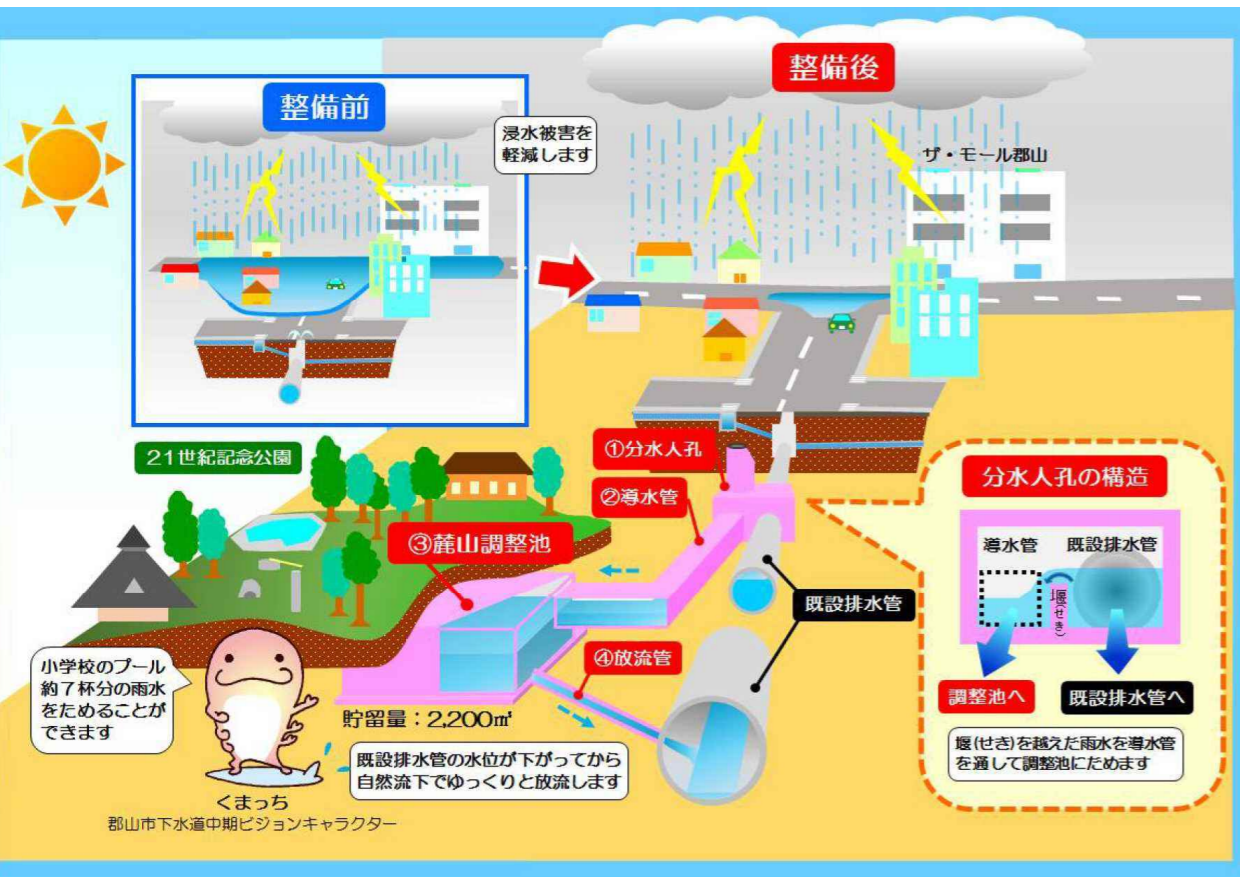


麓山調整池の仕組み

『郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン』（100mm/h安心プラン）整備事業 ～貯留施設～

- ゲリラ豪雨時に既設管の水位がある一定まで上昇すると、分水人孔から導水管に雨水があふれ貯留施設に雨水が溜まる。
- 麓山調整池に溜まった雨水は、雨が上がり既設管の水位が下がった時に、既設管に流れる。

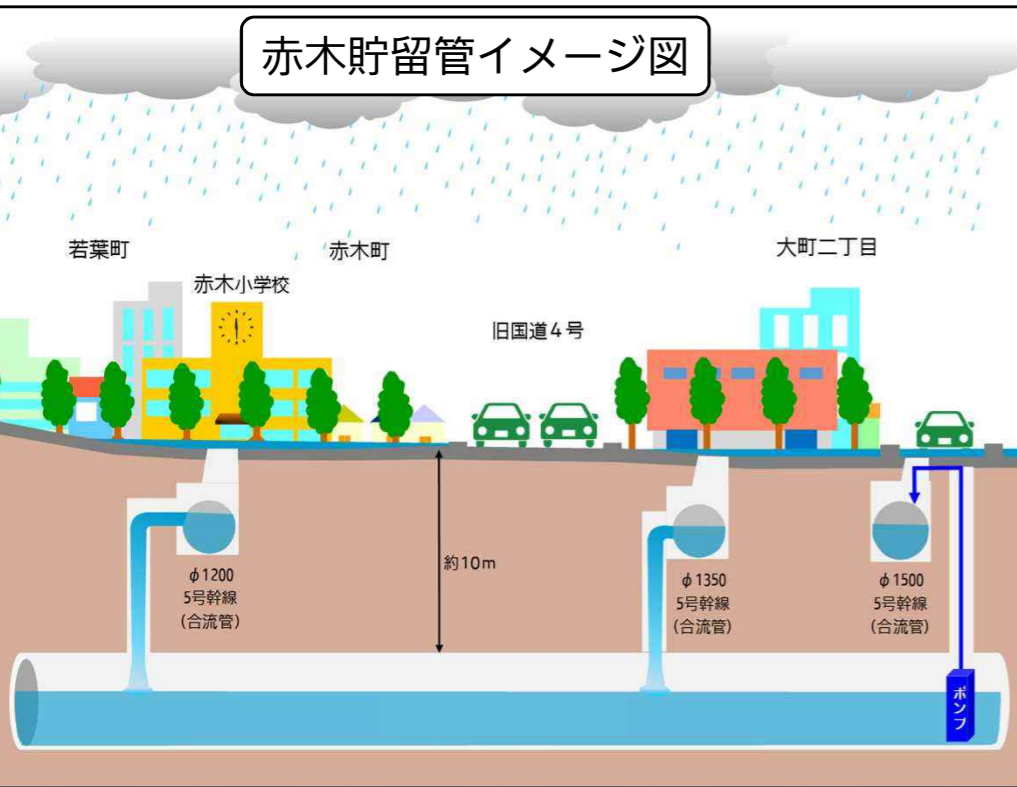


麓山調整池は、令和元年6月に一部供用開始し、整備効果の確認ができた。



貯留管の仕組み（赤木貯留管 外）

- ゲリラ豪雨時に既設管の水位がある一定まで上昇すると貯留管に落ちる。
- 貯留管に溜まった雨水は、雨が上がり既設管の水位が下がった時に、ポンプで既設管に戻す。



9月は、シールド掘進機※による本掘進(約743m完了)及び到達立坑No.8の地盤改良を行い、導水管築造(推進工法)に係る立坑No.2の仮設土留・掘削、立坑No.3の地盤改良を行いました。  
 10月は、引き続き、シールド掘進機による本掘進及び各立坑の地盤改良及び仮設土留・掘削等を行います。

工事状況を市ウェブサイトで毎月公開

貯留管内部  
 シールド掘進機による掘進状況(セグメント※設置)

立坑No.2  
 仮設土留(ライフプレート)・掘削状況

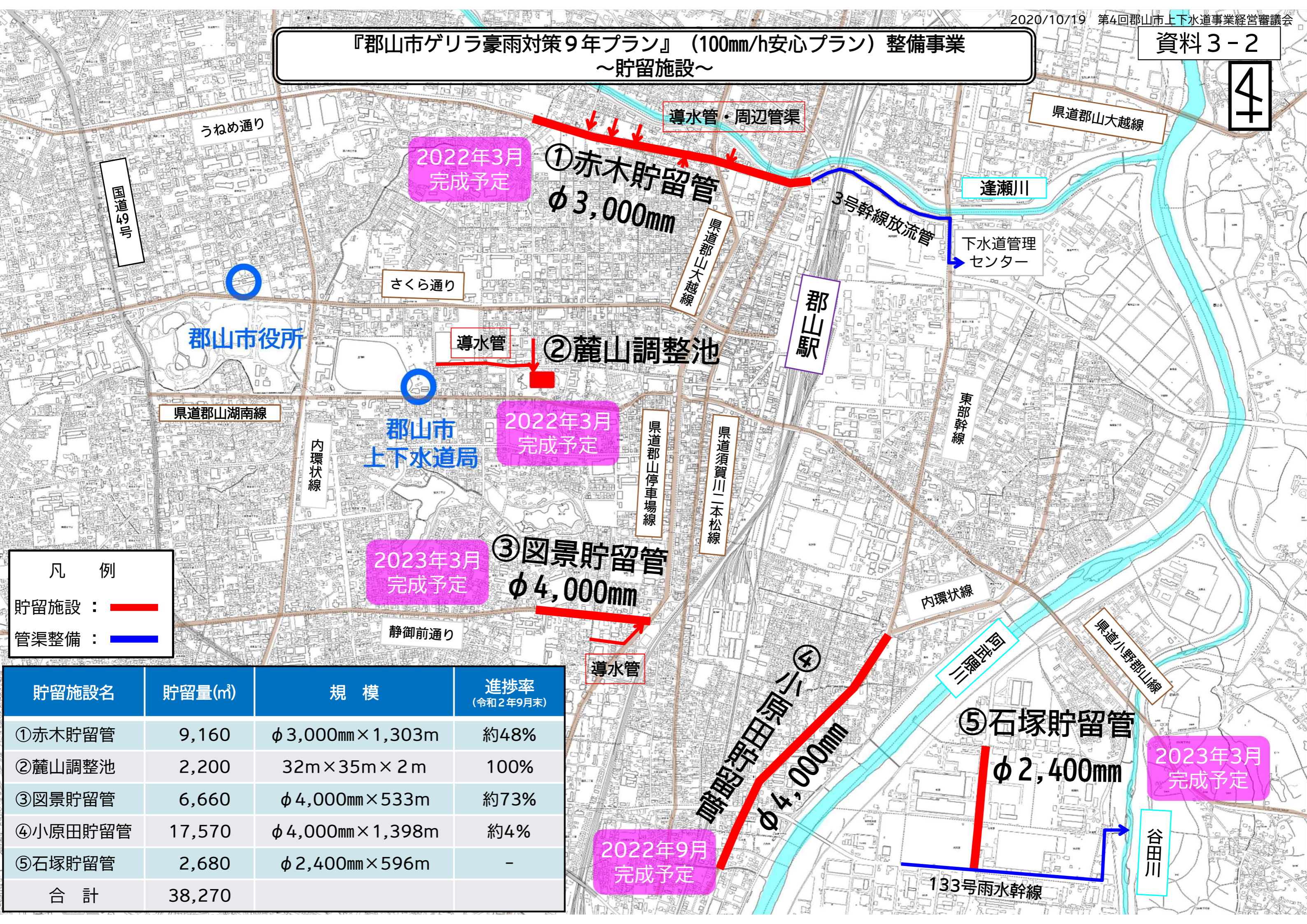
立坑No.3  
 地盤改良(薬液注入)状況

立坑No.8  
 地盤改良(高圧噴射)状況

位置図  
 立坑No.1(発進)  
 立坑No.2(分水①)  
 立坑No.3(接続)  
 立坑No.5(分水②)  
 立坑No.7(分水③)  
 立坑No.8(到達)  
 掘進機※位置  
 掘進方向  
 約743m  
 うねめ通り(市道若葉条野線)  
 JR東北線  
 県道郡山大幹線

掘進機※…地中を掘り進むための機械。  
 セグメント※…シールド掘進機※で掘り進めた後方が崩れないように、壁面を構築するためのブロック。

『郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン』（100mm/h安心プラン）整備事業  
～貯留施設～



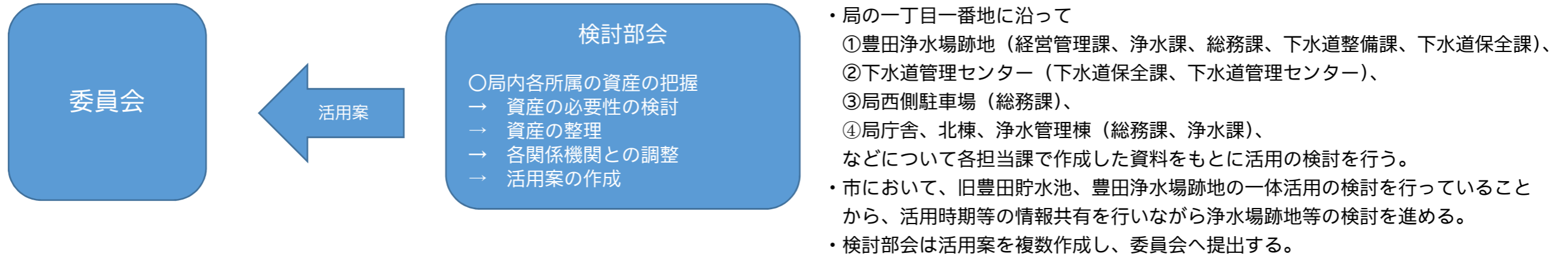
凡 例

貯留施設 : —

管渠整備 : —

貯留施設名	貯留量(m <sup>3</sup> )	規 模	進捗率 (令和2年9月末)
①赤木貯留管	9,160	φ 3,000mm × 1,303m	約48%
②麓山調整池	2,200	32m × 35m × 2m	100%
③図景貯留管	6,660	φ 4,000mm × 533m	約73%
④小原田貯留管	17,570	φ 4,000mm × 1,398m	約4%
⑤石塚貯留管	2,680	φ 2,400mm × 596m	-
合 計	38,270		

○上下水道局資産の活用について（郡山市上下水道施設最適化検討委員会検討部会）



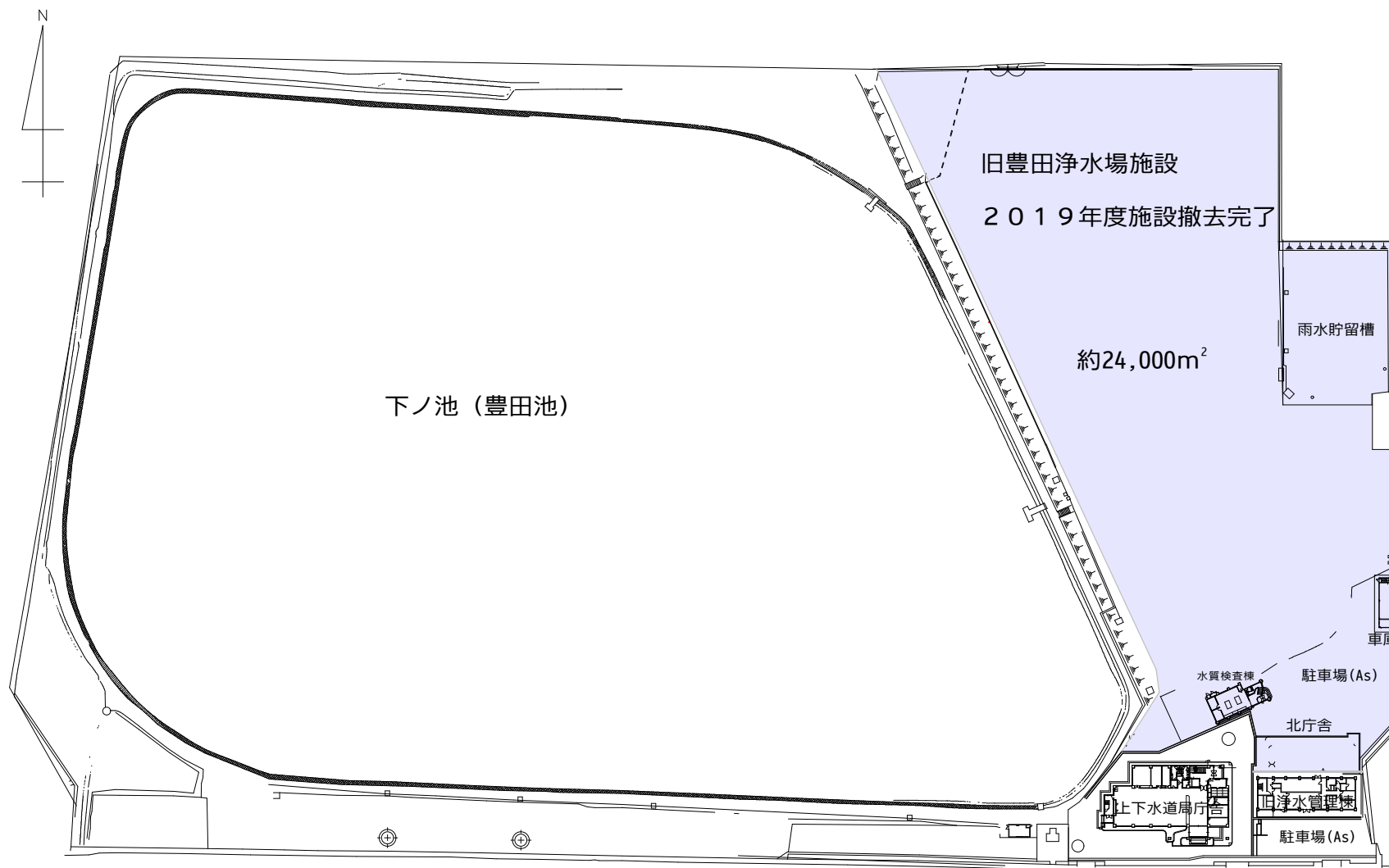
○年間スケジュール

	年間ロードマップ											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上下水道事業におけるアセットマネジメントの推進（旧浄水場跡地及び下水道管理センターの遊休地等の最適化）	【最適化案の検討、最適化案の作成】										【順次展開】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田浄水場跡地の必要範囲の把握。売却、貸付、余剰スペースの活用等の検討 駐車場運営会社等への浄水場跡地の活用需要調査、近隣事業者需要調査 災害時に自家用車での避難者へ駐車スペースとして開放（9/23、24）</li> <li>・下水道管理センター等の施設規模、機能、複合化等の検討 サウンディング型市場調査等による民間需要等を調査</li> <li>・北庁舎撤去に際して資産の配置スペースの把握、検討</li> <li>・不要資産の除却、廃棄</li> </ul>										必要経費を予算化	
	【郡山市上下水道事業経営審議会】											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諮問（4/21）</li> <li>・審議（7/10）</li> <li>・審議</li> <li>・答申</li> </ul>											
	郡山市上下水道施設最適化検討委員会（5/29）、検討部会の開催（5/22、10/9）。 日本大学など、関係機関との連携。											

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事項名	豊田浄水場跡地	暫定活用案の検討・作成											
		需要調査											
事項名	下水道管理センター遊休施設等解体事業								起工 9/7	入札 10/19	汚泥処理施設、コンポスト棟東側解体工事		
	北庁舎撤去調査・浄水管理棟の活用	解体工事の調査・計画及び工事費等の算出						各居室等の移転計画検討・実施（浄水管理棟の活用）					

※局西側駐車場は令和元年6月24日から市民に対し無料開放済

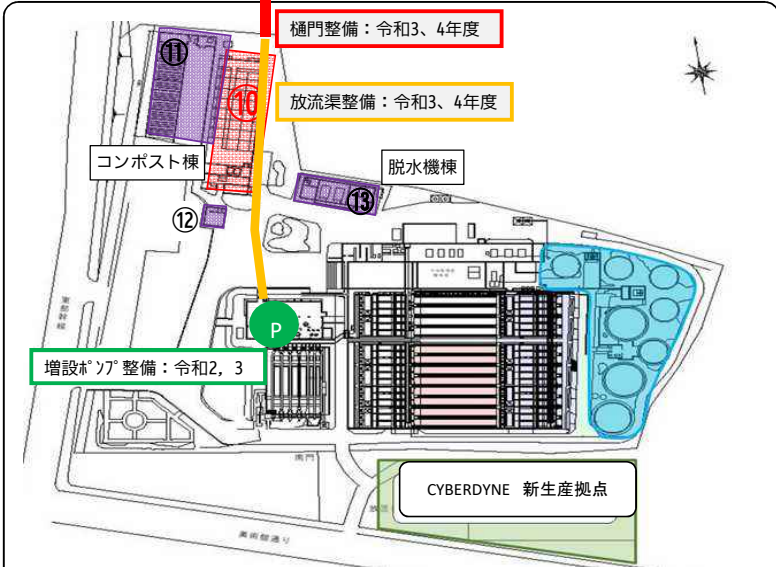
縮尺 s = 1/2,000



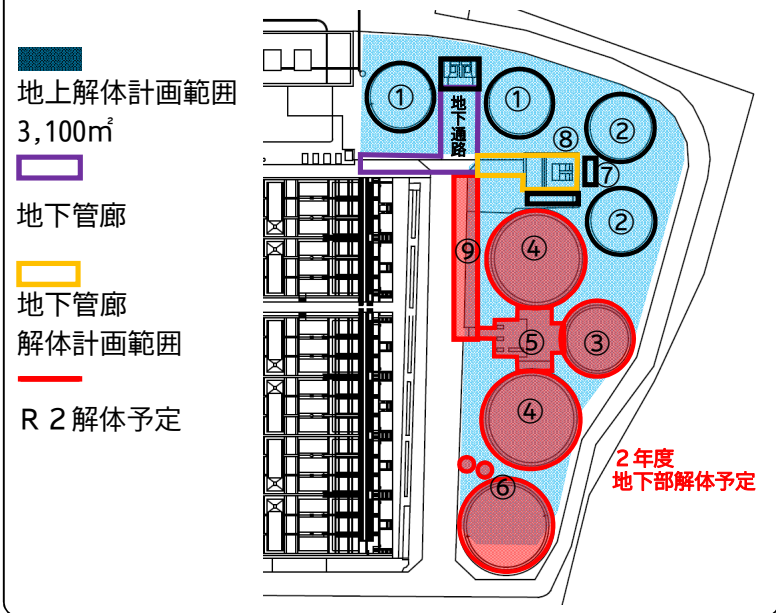
# 下水道管理センター遊休施設解体工事

資料3-5

下水道管理センター 一般平面図



解体範囲 拡大図



汚泥処理施設

① 洗浄タンク  杭有	② 濃縮タンク  杭有	③ 分離タンク  元年度 地上部解体 杭有
④ 消化タンク  元年度 地上部解体 杭有	⑤ ボイラー棟  元年度 地上部解体 杭有	⑥ ガスタンク  28年度 地上部解体 杭有
⑦ 汚泥分配槽  杭有	⑧ 重力濃縮棟  杭有	⑨ 地下通路  杭有

※令和2年度の施工予定 ③④⑤⑥⑨の杭を除いた地下部の解体を行う。

コンポスト化施設

⑩ コンポスト棟東  杭有	⑪ コンポスト棟西  杭有
⑫ コンポスト事務棟  杭有	⑬ 脱水機棟  杭有

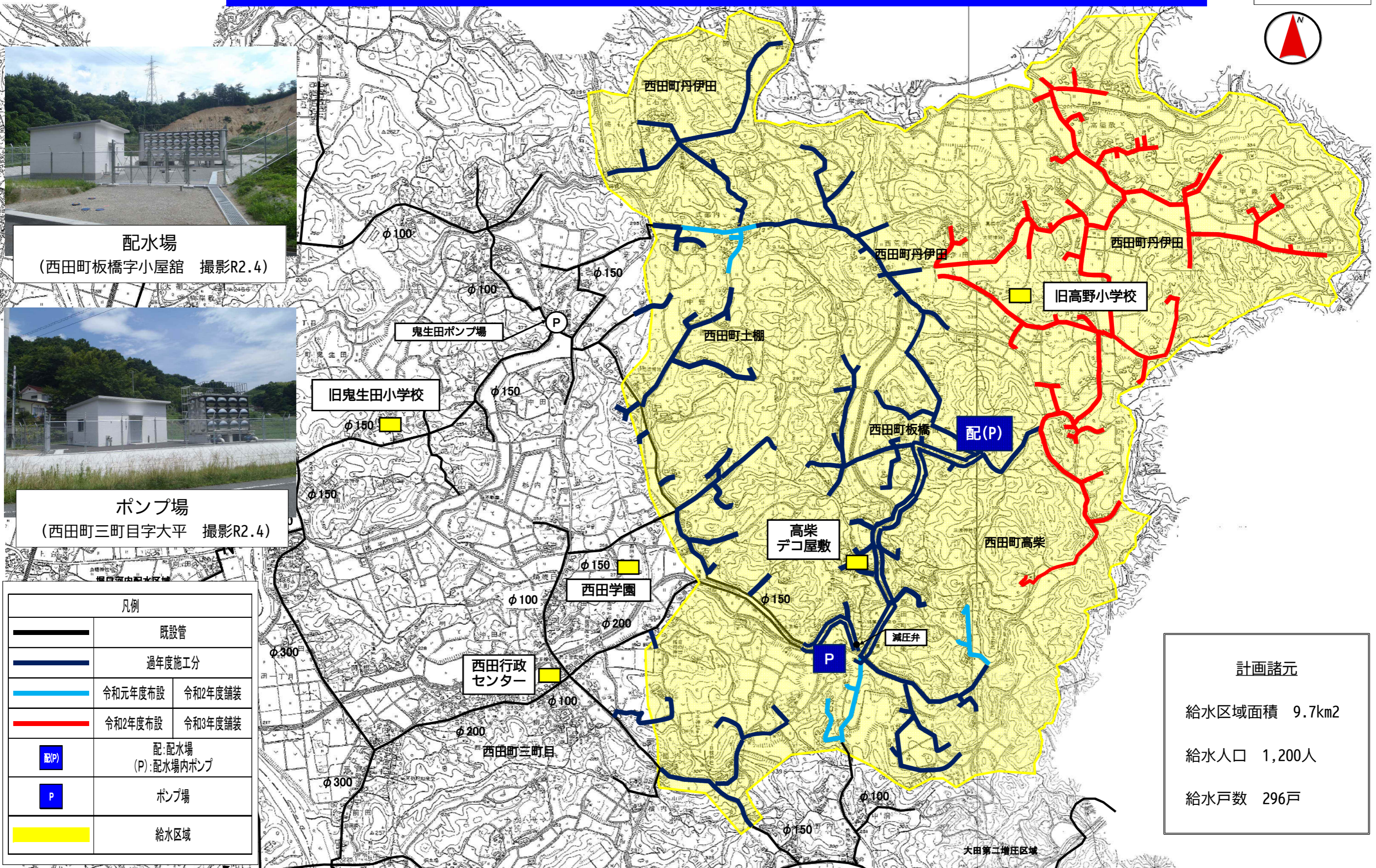
## 汚泥処理施設解体スケジュール

	H28~30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度以降
⑥ガスタンク上部、生汚泥処理設備	●					
③分離タンク、④消化タンク、⑤ボイラー棟		●				
③④⑤⑥の地下部、⑨地下管廊			○			
①②⑦タンク、⑧重力濃縮棟、地下管廊等 杭引き抜き等				○		
⑩コンポスト棟東			○			
⑪⑫コンポスト棟(西、事務棟)※						○
⑬脱水機棟						○

※コンポスト棟(西側、事務棟)はR5年度に償還期間満了予定

# 未給水地区解消事業

資料3-6



凡例	
	既設管
	過年度施工分
	令和元年度布設
	令和2年度舗装
	令和2年度布設
	令和3年度舗装
	配:配水場 (P):配水場内ポンプ
	ポンプ場
	給水区域

計画諸元	
給水区域面積	9.7km <sup>2</sup>
給水人口	1,200人
給水戸数	296戸